

おらほの支えあいマップ "わくや" 対象者名簿【記入例】

2019年8月23日現在

行政区 区

No	氏名	年齢	生年月日	住所	電話番号	緊急連絡先① (親族・近隣住民・施設等)		緊急連絡先② (親族・近隣住民・施設等)		世帯状況(支援が必要となった事由)						見守りレベル	災害時 対応レベル	
						氏名/続柄等	電話番号	氏名/続柄等	電話番号	高齢者 ひとり暮らし	日中一人 世帯	一人親世帯	障害児(者)	閉じこもり	その他			備考 (身体・生活状況等)
1	下町 太郎	102	T5.9.16	涌谷字新下町浦192	43-6661	涌谷 雄太郎/子	43-6662	天平 小太郎 /近隣住民	43-6661		○					膝が悪く、歩きにくい	2	B
2	城山 花子	91	S3.2.5	涌谷字新下町浦185	43-6663	城山 次郎/子	090-1234-4567	ゆうらいふ	43-6661	○						左半身麻痺 デイサービス月・木	2	C
3	日向 桃子	16	H15.6.15	涌谷字洞ヶ崎5	44-1181	日向 梅美/母	080-8901-2345	-	-			○			母:8:30~17:30まで 仙台勤務 あまり学校に行っていない様子	1	-	
4	小塚 葱介	78	S15.10.20	涌谷字新下町浦52	43-2458	小塚 貴文/子	090-4446-6698	石仏 峰雄 /親戚	44-3325			○			要介護1 膝が悪く、5分以上歩けない	1	A	
5	小塚 桜子	77	S15.4.19	涌谷字新下町浦52	43-2458	小塚 貴文/子	090-4446-6698	〃	〃			○			要支援2 足が弱い 車を運転する	1	A	
6	涌谷 次郎	52	S41.9.16	涌谷字新下町浦194	43-1162	-	-	-	-					○	暗くなると外出する	1	A	
7	涌谷 幸太郎	82	S11.9.17	涌谷字新下町浦194	43-1162	共生の森 基幹相談支援センター	25-9675	-	-					○	軽度の知的障害? 息子との仲が悪い	3	C	

【見守り】	想定される見守り	頻度(目安)	連携イメージ
レベル1	さりげない見守り	生活の変化(対象者宅のポストやカーテンの状況など)に気を配る。	福祉推進員、近隣住民の協力を得ながら、定期的に支援者間で情報の共有を図る。
レベル2	訪問による見守り	大まかな訪問の頻度(月1回など)を地域の関係者で決め、声かけを行う。	福祉推進員、近隣住民等から担当者を決め、必要に応じて訪問の記録を行い、定期的に支援者間で情報の共有を図る。
レベル3	専門職と連携した見守り	訪問の頻度を決め、関係者と連携を図りながら計画的に声かけを行う。	相談支援包括化推進員や生活支援コーディネーター、ケアマネージャー等の関係者と連携し、具体的な支援を検討する。
【災害時】	想定される対応	平常時からの支援	災害時の支援
レベルA	声かけ・誘導	災害への心構えを高めるため、平時より避難場所の確認や避難に必要な物を対象者自らが準備するように促す。	自治体からの避難準備・高齢者等避難開始の発令を参考に危険度分布や河川の水位情報等を用いて、対象者への声掛けや避難の誘導を行う。
レベルB	複数人での対応	避難・誘導に必要なもの(担架やリヤカー、車イスなど)を地域の中で把握し準備する。	避難・誘導を行う際に、複数名での支援を行うことで安全に行うことが出来るよう配慮する。また、避難先でも連携を図り、支援を継続する。
レベルC	専門職と連携した対応	いつ・誰が・どのように避難をするのか、関係機関と連携し、地域としてどのような役割が求められるのかを確認する。	関係機関が避難誘導の中心になる場合が考えられるため、情報共有を密に行い、円滑な支援が行えるように配慮する。